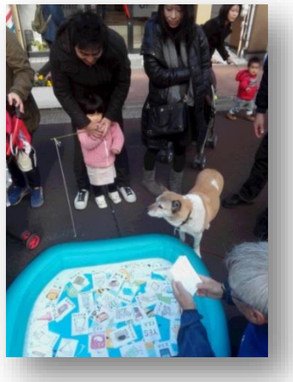
地域防災力を向上させるために

縁プロジェクトが平成２８年１２月以降に実施した、防災への取り組みを紹介します。

久が原ライラック通り商店街福引抽選会にて「防災釣りゲーム」 H28.12.11(日)



子ども用プールの中に防災に関するさまざまな品物の絵が描いてあるカードをばらばらに置きます。防災に関するクイズを出して、その答えをプールの中のカードから選び、それを紐の先端に磁石をつけたスティックで釣り上げます。

「防災釣りゲーム」の適齢は幼稚園児と小学生全般です。たくさんの子どもたちで賑わいました。

出前防災セミナー（HUGと講話）
新宿小学校避難所運営協議会　H29.02.08(水)

大田区では地域の町会自治会が区立小中学校に開設される災害避難所を運営することになっています。避難所を運営するリーダーは苦悩の連続だと思います。そのストレスを充分に体験できる「避難所運営ゲーム」（＝ＨＵＧ）を行うことによって、さらに防災力を高めることができると思います。

出前防災セミナー（クロスロードゲーム）
池上まちおこしの会　H29.02.21(火)

災害時にその場その場の責任者はさまざまなジレンマを抱えながら、厳しい判断をしなくてはなりません。実際にどのような判断をしているのかを「クロスロードゲーム」を通して体験してみました。

災害を未だ体験していない、という自覚を持つと、想像力が涌き、困難なことも想定できるようになるのだと思います。

松仙小学校防災セミナー
TTT講話　H29.03.06(月)

↓TTT(TSUNAGU Teenager Tourguide of NOBIRU)の尾形祐月さんとマネジャーの鈴木貴之さん

昨年の夏休みに松仙小学校で宿泊を伴う研修会にＴＴＴの講話を聞きました。松仙小学校で行う今年度２度めのＴＴＴです。

命の危険が残る中で、小学生の自分でもできることを探して自ら行動した彼女たちの話は聞く人の心を揺さぶります。

私たちに理屈より行動を、思考より姿勢の大切さを教えてくれ、さらに自分たちが現在住む東松島市の今を伝えてくれました。

災害ボランティアによる防災セミナー（兼 縁プロジェクト 助成金事業平成 28 年度合同報告会）
TTT講話とパネルディスカッション　H29.03.13(月)

↑TTT尾形祐月さんの講話

↑(左から)小野紀之さん、林あよりさん、尾形祐月さん

前週の松仙小学校で行った講話に引き続きＴＴＴの尾形祐月さんをお呼びして講話を聞きました。その後、大田区被災地支援ボランティア調整センターの小野紀之さんと大田区在住大学生の林あよりさんを交えてパネルディスカッションをしました。被災者として何を人に伝えたいのか、またボランティアとして被災地で何をみたのかを語っていただきました。参加していただいた皆さんにはこれらの話を聞いて、大田区の防災について真剣に考えていただけました。

↓携帯トイレの展示販売コーナー

【アンケートより（抜粋）】
- 小学６年生のときに、このような悲惨な体験をして、とてもたいへんでしたね。これからは自分の夢に向かって元気に進んでください。
- 大田区で防災を考える上でとても参考になりました。靴は脱がないことですね。
- 東松島市と大田区の若い娘さんのお話がとても新鮮で素晴らしかったです。
- 大災害が起きたら大田区は、どうなってしまうのでしょう？不安ですが、命を守る、ということを最優先に考えていけばいいのですね。

松ぼっくりの里帰り大作戦･･･里帰り第二弾
平成 29 年 4 月 23 日

宮城県の松の種を大田区で発芽・栽培をして、育った松を津波で壊滅した海岸の松林再生のために宮城県の海岸に移植する活動…《松ぼっくりの里帰り大作戦》。

昨年 11 月 20 日と 21 日に里帰り第一弾を実施しました。高台移転で整地された野蒜ケ丘に記念植樹をして、海岸沿いの浜市地区に松の苗を等間隔に植えました。

そしてこのたび、めでたく第二弾を敢行いたしました。場所は同じく浜市地区です。

私たちは５ヶ月前に植樹した松子たちに再会しました。残念ながら、一部の苗木は根付かずに枯れてしまっていましたが、大部分は元気にしています。そして今回はその奥に弟や妹たちを続けて植えました。整地して穴を掘り、両の掌で大切に包み込みながら一本ずつ丁寧に植えます。

浜市地区での植樹の前に、東名のふれあいセンターの敷地内に大きめに育った松を２本植えました。

松子を両手で包み込むように持てば、愛おしさが増します。大地に植えるときもやさしく、やさしく・・・。

海岸沿いの浜市地区は、とても風が強い所です。風雨に負けず、元気に育ってほしいと願うばかりです。再会を楽しみに作業を終了しました。